としょだより

泗水図書館 **2**0968 (38) 6866 中央公民館図書室 **☎**0968 (25) 1672 七城公民館図書室 **2**0968 (25) 1580 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111 内線303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日 七城公民館図書室 日曜日・祝日 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

本で

つシ



今年の西日本読書感想画コン クールの指定図書と青少年読書 感想文コンクールの課題図書が 揃いました。指定図書・課題図 書のコーナーを設置しています ので、ぜひご利用ください。 (中央公民館図書室)

※図書のイベント情報は、36ページの行事予定に掲載しています。

i お 薦 め図書

泗水図書館

時のはざまに 黒田武一郎 著 陽 著 剣客瓦版つれづれ日誌 池永 偉大なる、しゅららぼん 万城目学 著 わたしの彼氏 青山七恵 三田誠広 著 平安朝の悪女たち 若林克彦 絶対にゆるまないネジ 著 甲子園がくれた命 (世の中への扉) 中村 計 著 パパとあたしのさがしもの 鈴木永子 作・絵

中央公民館図書室

探偵・日暮旅人の探し物 山口幸三郎 著 華鬼 1~4巻 梨紗 はじめてのバラこそ無農薬 小竹幸子 モダン和風の庭 志村 悟 著 帰ってきたおとうさんはウルトラマン 宮西達也 作

七城公民館図書室

ハタラクオトメ 桂 望実 著 内田麟太郎 著 うっとりはなにみとれたら

旭志公民館図書室

非属の才能 山田玲司 著 たこやきようちえん さいとうしのぶ 作

子どもたちが地域に帰る夏休み、図書館でおはなし会を楽し

んでみませんか?ボランティアのみなさんや、司書による楽し

図書館へ行こう!毎日おはなし会があるよ!

いおはなし会が毎日あります。遊びに来てね!

午後3時から(休館日を除く)

と き 7月26日(火)~8月30日(火)

ところ 泗水図書館えほんコーナー

飛び入り参加大歓迎! (泗水図書館)

※随時、読み手の人も募集しています。

たのかな・・・などみんなが思える本昔はこうだったんだ・・・、いつできつ橋のひみつ」などの種類があります。のひみつ」「コーヒーのひみつ」「八 いることが、 かるおもしろい本です。 ひみつシリ ヘェーっとなっ ーズは、 マッ るんに

です。 つシリーズをさがしてみるといいと思読みました。図かんがない時に、ひみわたしは、ひみつシリーズを全かん います。 昔のことも今のことも分かる



(菊池北小4年)

坂本莉央さん

第2回読書感想画・ブックレター募集

旭志公民館図書室で今年も募集します。

入賞者は菊池市旭志文化祭で表彰します。詳しい内容は、旭志 公民館図書室までお問い合わせください。皆さんからの応募を お待ちしています。

募集期間 7月25日(月) ~9月30日(金)

(旭志公民館図書室)



花吹雪車椅子にも舞ひかかる

芳子

苗植

う

る準備整ひ

春時

雨

う

水光

中尾ヨシ

きた

老い集ひ

の話梅雨走り

グ子

大ピン

チ

流布に銭

O

入

つ

とら

美ん由

数恵

急ぐまじ買物径

の若葉風

祖父と孫歌ひ乍

 \mathcal{O}

菖蒲の

服部

靜子

る

滑るごと新幹線や初夏の

風

結び

7

け

将来老舗背負わする

暇過ぎて

働き者に

や

・酷ば

いた

上村

今

寺

本

和子

ラ

ド

セ

ル

ダ

打

7っとめ渡り 小川 繁

繁美

更衣今日は学ラン着る着な

渡辺

大寿

ひみつ

いらい

もしろいる

みてくださ

Ci んで 学研

分

ちゃ 幹線 大売り 新幹線 大ピン チ 出 そぎ あ 他人に話はさ \mathcal{O} 要ら 世で ゃ んもだえて行かんて 乗 h つ とばかり買うて 7 れんな いっちょこ 柏原 乗仏 井手 御手洗三代 んた

イ

さく の牛磨か ら花先祖供養の里墓苑

'n て草萌ゆる 水谷 ミネ 蓉子

ナカ

の武者絵はためく初幟

のり

地震いの

町

奮ひ立てよと鯉幟

雅子

0

音

 \bar{o}

高まる渓や夏に入る

邦子

n

着

き

ş

ふ

み始め

し朴ら

の花 野中

公枝

待望

球を追ふ少年等夏来たる

のぼる古刹

の大樹椎の花

幸子

さぞよか

ろ

天か

ら二物貰うとる

光堀

善教

芋ようやく角芽出

l

11

いる 木下

し里

ま

う子

る

さぞよか

ろ

どの

社にす

るか迷

つ

清子

スキ イツバ皐 ー月の Oク 百花が庭に人呼ぶ 1] ス マ ス 口 緒方

室ではれる 定限に春の日とどき芍薬の大輪威風 は出来ず走り書き止まる 佐々 重弘 電話にて友が告げくる詠草を聞きわ 電話にて友が告げくる詠草を聞きわ 話済まして来たか釣針に掛かりしハ エ は両親に別 寛子 \mathcal{O}

音たててわれのめぐり は棘の痛さかこちて は棘の痛さかこちて とがでに緑陰深し 鉢抱かされ も嬉 ぐり だしく有難し **氏岡 一 氏岡 一** は 0 7 梅野カヲ 時が ゆく 百枝に 力

に手向けの白きにはか雨避けなが見切たつ の白き花 むと寄 しバ ラ園に六千 n る 歩道 北島 - 余本の 橋 昭子 \mathcal{O} 隅

き魂 ン いコ まも宿り __ 一羽葬り Ŕ あとの 山代が

誤

·ズ・ルピ

です。 正

正 正水谷へ



電子辞書打つ春の時間がしつつここ 7つ春の炬燵っつこころ 焼に 言葉拾は

夫逝きて農地守りてく道に光れ野の花三年余の病の癒えて 老いてなほ人生生涯 り肩の荷下ろす 今日も出で行く 学習と吾を励ま 北村 玉恵 光子 の行 譲 行

おわびと訂正

新発意の袈裟新具になる。 の誤りがありました。正広報きくち6月号16ペ しくは次のとおり ージに名前と作